

ふくいん ぶんかを のこそう

創世記 6章 2~3節 雑は、その野の中でイスラエルに、「ヤコブよ、ヤコブよ」と言って呼ばれた。彼は答えた。「はい。ここにいます。」すると仰せられた。「わたしは雑、あなたの気の神である。エジプトに下ることを懸れるな。わたしはそこで、あなたを笑いなる国際にするから。

ヤコブとヨセフは信仰の祖先です。彼らは神様によってあらかじめ完全に備えられて、開いられました。ヤコブはなにかをするとき、選択するとき、神様に祈って委ねるより、自分のが考えに基づいて行動していました。それゆえ、ずっと人との葛藤が続いたので、だましだまされることを繰り替えさなければなりませんでした。しかし、ある日、神様の重っ要な時刻表の中で、みことばの前にひざまずくようになりました。このようなヤコブとは遺れるで、ヨセフは幼い時から揺れることなく神様の契約に従いました。ヨセフもとても、難しい問題とできごとを経験しました。それでも葛藤しませんでした。かえって神様の証人になりました。彼はエジプトの総理になっても、神様の証人として全世界を治めました。後には、エジプトで最も良い土地であるゴシェンで家族みんなと発うようになりました。このように祝福されたのですが、二人は次世代に福音文化を残せませんでした。

レムナントは経営をじっくりと黙想して伝える証人です。このような私たちを遠して、教会が次世代まで伝える福営文化を残す神殿になることを祈りましょう。契約として心に大事に留め、時間を定めて毎日祈りの祭壇を築くならば、神様がその祈りのとおり漢いてくださるでしょう。

えうのみことば



精味、ありがとうございます。 私を通して、教会が次の世代まで経済を伝え、 夢くの覚族を生かす福音文化を残すように 導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。 アーメン

インマヌエル教会聖日2部 | 2020.3.1



神様は私を選して経営文化を残すことを願っておられます。 経営文化を残すために、神様がくださった契約を心に留めるため、 童童な単語を書きましょう。

K Min III III
この人々はみな、その() によって
() されましたが、約束されたものは
得ませんでした。神は私 たちのために、さらに
(ものを ()
用意しておられたので、彼らが私たちと別に
() されるということはなかったのです。
ヘブル 11:39~40

Ā		
うのでんどう	まっぴと 会う人	準備する資料

けいやくの ひとが うける こたえ

出エジプト 2章1~10節

パロの娘は彼女に言った。「この子を連れて行き、私に代わって乳を飲ませてくださ い。私があなたの賃金を払いましょう。」それで、その安はその子を引き取って、乳を の飲ませた。その子が大きくなったとき、女はその子をパロの娘のもとに連れて行った。 その子は王女の息子になった。彼女はその子をモーセと名づけた。彼女は、「がの中か ら、私がこの子を引き出したのです」と言ったからである

神様から見る私 たちは、どんな姿 でしょうか。 イエス・キリストによって救 われた神の子どもは、必ず成り立つ絶対契約の中にいます。それゆえ、私たち にあるすべての状況は、契約を成し遂げる機会になります。このとき、神様の あく せったい ひつよう 恵みの中で受ける力によって、私は熱心に努力する ことができ、難 しいことも勝ち抜くことができるからです。

レムナントのモーセが生まれたとき、イスラエルの党に生まれたすべての第 の子を殺せという命令が下されました。だれも変えることのできない絶対不可 のう じょうきょう 能な状況でした。しかし、そのとき神様は契約を成し遂げるために、エジプト の王女の心を動かされました。彼女はモーセを息子としました。神様はそれと ょうじ けいゃく なが とき で 同時に、契約の流れを途切れさせないために、モーセのお母さんをモーセの乳母 として導かれました。契約を刻む絶対可能の答えに導かれたのです。

雑様は契約の人に契約が成り立つ絶対可能の答えをくださいます。この答え を見つめて、今日も私たちにくださった福音の契約をのがさないようにしまし ょう。



神様、ありがとうございます。福音の契約によって私を神の子ども、契約 の人として呼んでくださったことを、いつも喜ぶことができるように導い てください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りしま

インマヌエル教会聖日 1 部 | 2020.3.8



色をぬろう

契約を握ったモーセに契約が成就し始めました。 ぜったいるかのう ぜったいかのう かかけましたがら かんが 絶対不可能を絶対可能に変えた神様の力を考えながら 下の絵に色をぬりましょう。





いちばん さいしょに うける こたえ

出エジプト 3章1~20節 覚よ。 今こそ、イスラエル人の朝びはわたしに描いた。わたしはまた、エジプトが彼らをしいたげているそのしいたげを覚た。 今、行け。わたしはあなたをパロのもとに遭わそう。わたしの覚イスラエル人をエジプトから連れ出せ。」 $(9\sim10)$

人は自分で交わした約束すら等ることのできない存在ですが、神様は約束されたことを必ず等って成し遂げてくださる方です。レムナントモーセを見てみると、それがよくわかります。モーセは 40年間、空管で過ごし、多くの学問を修めた後、ミデヤンで苦難の時を過ごさなければなりませんでした。しかし、そのとき神様は、モーセのミデヤンでの 40年間をとても重要な霊的訓練のための時間とされたのです。それは、イスラエルの民をエジプトから連れ出して荒野の道を行くためのものでした。モーセのすべての時間は、すべて神様の契約を成し遂げるための時刻表でした。

ないたちが先に受けなければならない。最も重要な答えがあります。霊的答えです。神様はモーセを開いられる前に、霊的答えをくださいました。それは、福音のみことばの刻印によって与えられる聖霊の満たしです。そうした後で、神様は約束されたことをすべて守ってくださいます。

*私たちはモーセのように神様がともにおられるレムナントです。これが私のアイデンティティです。毎日、契約を刻節して、学ぶすべてのことに最善を尽くしましょう。 聖霊の満たしという霊的答えの中で、神様が備えられた時刻表が毎日来るようになるでしょう。

きょうのみことは



雑様、ありがとうございます。みことばを黙想して祈るとき、聖霊の満たしというもっとも大きな霊的答えをください。生きておられるイエス・キリストのお客前によってお祈りします。アーメン

インマヌエル教会聖日 2部 | 2020.3.8



いちばん大きな霊的答えである聖霊の満たしを受けて、私は どんなことに挑戦したいですか。

みことばを適用しよう

ねが挑戦したい2つのことを書きましょう。



きょうのでんどう	会う人	^{じゅんび} 準備する資 料



まことの かいほうに ちょうせんしよう

Iヨハ 2章7~8節 愛する者たち。なしはあなたがたに、新しい命令を書いているのではありません。むしろ、これはあなたがたが初めから持っていた苦い命令です。その苦い命令とは、あなたがたがすでに聞いている、みことばのことです。しかし、私は新しい命令としてあなたがたに書き送ります。これはキリストにおいて真理であり、あなたがたにとっても真理です。なぜなら、やみが消え去り、まことの光がすでに一輝いているからです。

たによって編み出された科学技術や医術では治すことのできない病気や精神病に苦しむ人がどんどん増えています。それゆえ、多くの人がこの時代をわざわい時代と呼びます。

このようなわざわい時代は、いつも繰り返していました。そのたびに、あらかじめすべてをご存じだった神様は、神の子どもに神様のメッセージを伝えられました。教いの福普を伝えるための神様の計画でした。神様は聖書にだけ教いと霊的答えを記録されました。この事実を信じて、空つのことに挑戦しましょう。多くの人に、わざわい時代から教い出す神様が備えられたまことの解放を伝えることができます。

最初に、福音の契約を回復しましょう。イエス・キリストは、神様を離れたゆえに生じるすべての問題の解決者です。この事実を心から信じれば良いのです。2つ曽、私がいる所にはいつも神様がともにおられることを信じましょう。その証拠として、神の国が臨み、神様のみこころが成し遂げられる祝福を受けるようになります。3つ曽、神様がくださる力を受ける霊的サミットタイムを持ちましょう。その時間、神様から与えられる力を受けて、幸せになるでしょう。これからは、まことの解放に挑戦しましょう。

きょうのみことば



神様、ありがとうございます。からだの病気や精神病によって常数担っている人なに、福音によるまことの解放の道を伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

産業宣教メッセージ | 2020.3.14

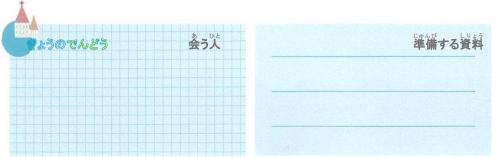


12. しょうりする みぶん

作詞:ユ・ウイヨン 作曲:ノ・スンヒ







わたしの みことば、 わたしの いのり わたしの でんどう

きんようび

私が御子の福音を登べ伝えつつ霊をもって任えている神があかししてくださることですが、、私はあなたがたのことを思わぬ時はなく、いつも紹りのたびごとに、神のみこころによって、何とかして、今度はついに道が開かれて、あなたがたのところに行けるようにと贈っています。

ローマ 1 章 9~10節

創世記3章15節は、神様によって物めて宣言された福音の契約です。サタンの頭、ひとことで、サタンの権威を踏み砕くという約束を記録した部分です。この契約を握ったレムナントは、どんな困難と問題に遭遇しても勝利しました。問題がない時も、いつも勝利しました。

*私たちも間じです。問題の前で苦しみ、その問題を自分で解決しようとするなら、サタンの攻撃に倒れるでしょう。しかし、福音であるイエス・キリストがすべての問題を終わらせたことを心から信じるとき、その瞬間、勝利するようになります。このように勝利する一日を送るためには、神様がくださった私のみことば、私の祈り、私の伝道を整理しなければなりません。整理するということは、心に留めるという意味です。

今まで受けたみことばを整理して聖書個所を一緒に書いてみましょう。みことばに従って祈りの課題も整理しましょう。まだ見たことのない、私の宣教国を心に抱いて祈って、伝道したい友だちの名前も一緒に書きましょう。神様は私たちが心に歯めたみことば、祈り、伝道に答えてくださるでしょう。





禅様、私のみことば、私の祈り、私の伝道が整理されて、心に富まるようにしてくださり、禅様をもっとたくさん知ることができますように。生きておられるイエス・キリストのお客前によってお祈りします。アーメン



どれいから かいほうされる ひ

主がエジプトを打つために行き巡られ、かもいと二本の門 柱にある血をご覧に 12章 21~30節 なれば、堂はその声音を過ぎ越され、滅ぼす者があなたがたの家に入って、打

奴隷はどんな状態でしょうか。すべて主人の命じるとおりにしなければなりま せん。もし霊的に奴隷になるならば、心と考えも奴隷として、したくない仕事を するしかないでしょう。

イスラエルの民がエジプトの完全な奴隷になりました。身分だけでなく、彼らの ころ。かんが、しゃれい 心と考えも奴隷になったのです。そのとき、神様は福音というまことの解放の サエンやヘ、 ニセッ 契約を握ったレムナントモーセを通じて、イスラエルの民みんながエジプトから で出るように、導かれました。かもいと門柱に子羊の血を塗ったイスラエルの民を、 すべての長子が死ぬわざわいが過ぎ越していきました。サタンは最後まで彼らが がいぼう 解放されないように、だまして倒そうとしましたが、決して福音の力に勝つこと はできませんでした。

奴隷から解放させる道は血のいけにえだけです。十字架でイエス様が私のため に血を流して死なれた、その愛によってのみ私はサタンから解放されるという事 実を心から信じれば良いのです。そして、毎日、過越の祭りの恵みを記憶しまし ょう。サタンはそのようなレムナントに触れることはできません。今日も十字架で 見せてくださった神様の愛に感謝しながら一日を始めましょう。

も、生きないのもの祝べべを味わうことができますように。生きておられ るイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

インマヌエル教会聖日 1 部 | 2020.3.15



わざわいが離れる福音を知らせてくださった神様の恵みに感謝して めいろを通りましょう。



うのでんどう	会う人	^{じゅんび} 準備する資料